

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	創造工学科エネルギーコース				13	13	7	
	創造工学科応用化学コース				12	12	7	
	創造工学科環境生命コース				10	10	7	
	創造工学科メカニクスコース				11	11	7	
	創造工学科情報システムコース				8	8	7	
	創造工学科建築コース				11	11	7	
	生産情報システム工学専攻				14	14	7	
	応用物質工学専攻				14	14	7	
	建築学専攻				20	20	7	
(備考) 創造工学科については、2020年度が完成年度となるため、完成年度までの設置計画に基づき、授業科目の単位数を記載している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=44

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo\(20200401\).pdf](https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo(20200401).pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～ 2024年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大学理事・副学長	2020年4月1日～ 2022年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	2014年4月1日～ 2022年3月31日	男女共同参画推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年末頃から、各教科担当教員が Web 上にてシラバスに掲載する事項(到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合)を記入する。入力完了後に教務委員会にて確認の上、新年度開始と同時に Web 上で公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=44
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に則り、シラバスにて公表している授業内容・方法(講義の内容や課題の有無等)及び評価割合(試験や発表、ポートフォリオ等)に基づき、厳格かつ適正に学習成果を評価し、単位授与を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学業成績は、シラバスに基づき、定期試験の成績ならびに平常成績等を総合的に考慮し、100点法をもって評価している。</p> <p>(創造工学科における客観的な成績指標の設定) 授業科目の成績を以下のとおりGP (Grade Point) に換算し、これを受講した全授業科目について単純平均した値をGPA (Grade Point Average) として、客観的な指標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ GP「6」 100点～90点 ○ GP「5」 89点～80点 ○ GP「4」 79点～70点 ○ GP「3」 69点～60点 ○ GP「0」 59点～0点 <p>(専攻科における客観的な成績指標の設定) 各授業科目の成績の平均点を客観的な指標としている。</p> <p>(成績分布状況の把握) 上記GPA又は平均点を用い、クラス、コース、専攻ごとに成績分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧 P28 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/06/R2gakuseibinran.pdf</p> <p>専攻科学生便覧 P11 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/02/63b7b86e3db353a818321ecaed9dec12.pdf</p> <p>GPA https://www.ariake-nct.ac.jp/students/grade-evaluation</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマ・ポリシー及び「有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に基づき、本科においては、自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。

- ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者
- ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者
- ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者
- ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者
- ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者

卒業の要件は、全課程の修了（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上、計 167 単位以上の単位修得）であり、卒業判定会議の審議を経て、校長が課程修了を認定する。

また、ディプロマ・ポリシー及び「有明工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程」に基づき、専攻科においては、次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。

- ・物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、および優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者
- ・工学の基礎知識、工学の専門知識および高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者
- ・課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者

また、修了の要件は、以下のとおりで、修了判定会議の議を経て、校長が修了の認定を行う。

- ・学習・教育到達目標を全て達成していること
- ・専攻科の必修科目を全て修得していること
- ・専攻科の必修科目と選択科目を併せて 62 単位以上を修得していること
- ・原則として研究成果を学外に発表すること

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧 P28 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/06/R2gakuseibinran.pdf 専攻科学生便覧 P11 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/02/63b7b86e3db353a818321ecaed9dec12.pdf ディプロマ・ポリシー https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和2年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/inspection

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/evaluation-results

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 創造工学科・エネルギーコース
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/department/energy)
(概要) (1) エネルギー関連工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成 (2) エネルギーの発生・変換に関する知識と技術を駆使し、持続可能な社会を築くために貢献できる実践的技術者の育成 (3) エネルギー生産と消費の現状に関する知識を身につけ、エネルギー問題などの世界的社会ニーズに対応できる技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) 1 年次と 2 年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム (2) 2 年次後期より、2 系 6 コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始 (3) 専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置 (4) コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置 (5) 一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置 (6) 4 年次後期から 5 年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/energy)
(概要) (1) さまざまな自然現象に興味をもち、積極的に勉強する意欲がある人 (2) 実験や工作に興味をもち、人と協力してものごとに取り組むことができる人 (3) エネルギーや環境問題に関心をもち、技術を介して社会に貢献する意志がある人

学部等名 創造工学科・応用化学コース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/applied-chemistry)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 応用化学に関する基礎学力および基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2) 自然環境の諸課題に対する化学の役割を認識し、これらの解決に貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3) 化学に関連する幅広い工学基礎知識を身につけ、環境問題などの地球規模の社会ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2) 2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3) 専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4) コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5) 一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6) 4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/applied-chemistry)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 他の人の考えを聴き、自分の考えを表現できる能力の向上に意欲がある</p> <p>(2) 他の人と協力して長時間の実験にも集中して根気強く取り組むことができる人</p> <p>(3) 基本的な生活習慣が身についている人</p>

<p>学部等名 創造工学科・環境生命コース</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/life-environmental)</p>
<p>(概要) (1)環境工学や生命工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成 (2)生体分子及び生命現象を理解し、その知識を利用することで様々な地球環境問題に貢献できる実践的技術者の育成 (3)環境や生命に関連する幅広い工学基礎知識を身につけ、食糧問題などの多様化する社会ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム (2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始 (3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置 (4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置 (5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置 (6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/life-environmental)</p>
<p>(概要) (1)生命現象、生物資源や自然環境に関心をもち、自ら粘り強く学習や実験を続ける意志がある人 (2)自分の考えをもち、それを表現でき、さらに人の意見を聴くことのできる協調性がある人 (3)基本的な生活習慣が身についている人</p>

<p>学部等名 創造工学科・メカニクスコース</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/mechanics)</p>
<p>(概要) (1)機械工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成 (2)人間社会と知能機械の共存による福祉社会の実現を認識し、インテリジェントな機械技術を駆使して社会に貢献できる実践的技術者の育成 (3)機械工学に関連する福祉工学やエレクトロニクスの基礎知識を身につけ、高齢化地域の社会課題に積極的な役割を担える技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム (2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始 (3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置 (4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置 (5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置 (6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/mechanics)</p>
<p>(概要) (1)機械のメカニズムに興味があり、その知識を専門的に身に付けたいと考えている人 (2)自らアイデアを出し、科学技術を使ってものづくりをしたいと思っている人 (3)地球環境に配慮し、すべての人が豊かに生活できる未来を創造することに関心がある人</p>

学部等名 創造工学科・情報システムコース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/information-system)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2)情報システムの構築を通して人々の生活の質の向上に貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3)情報システムとその周辺分野の知識を身につけ、人間社会の情報通信技術ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/information-system)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)数学や理科や語学が好きで、自発的に努力ができる人</p> <p>(2)コンピュータやスマートフォンなどの情報通信機器の仕組みに興味がある人</p> <p>(3)情報システムを人々の役に立たせたいと考えている人</p>

学部等名 創造工学科・建築コース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/architecture-course)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 建築に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2) 建築学と人間社会の関連を認識し、安全で、豊かで、魅力的な人々の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3) 建築学と関連工学分野の知識を身につけ、都市問題などの地域社会ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2) 2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3) 専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4) コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5) 一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6) 4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/architecture-course)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 数学や理科はもちろんのこと、社会や芸術などいろいろな分野に興味をもち、勉強している人</p> <p>(2) 家づくりやまちづくりに興味をもっている人</p> <p>(3) 建築の仕事をとおして、社会に貢献しようと考えている人</p>

学部等名 生産情報システム工学専攻
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)</p>
<p>(概要) (1)高度科学技術社会、国際的なエネルギー問題、環境問題に対応できる論理的思考能力と解決能力を備えた実践的技術者の育成 (2)準学士課程での機械、電気、情報工学の基礎的な知識と技術を基に、より高度に融合された機械・電気・情報分野の幅広い専門科目を修得した学際性を備えた実践的技術者の育成 (3)高い倫理観を持ち、幅広い視野と国際性を備えた実践的技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2)工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3)課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-aec-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほか、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置 (3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施 (4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) ディプロマ・ポリシーを目標に希望や夢を持って、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を進めるよう、専攻科では、高専本科卒業レベル相当の能力を有する次のような人を求める。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人</p>

学部等名 応用物質工学専攻
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)化学技術やバイオテクノロジーの進展に対応しうる知識と技術をもち、これを化成品、材料、食品、医薬品などの開発、製造などに展開する能力を有する実践的技術者の育成</p> <p>(2)基礎的・専門的学力と学際領域にわたる幅広い知識を活用して、環境に配慮したものづくりができる実践的技術者の育成</p> <p>(3)工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉える能力を持ち、国際性を備えた実践的技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。</p> <p>(1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者</p> <p>(2)工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者</p> <p>(3)課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-aec-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置</p> <p>(2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほか、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL(課題解決型学習)科目を設置</p> <p>(3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ(特別実習)を実施</p> <p>(4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置</p> <p>(5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置</p> <p>(6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーを目標に希望や夢を持って、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を進めるよう、専攻科では、高専本科卒業レベル相当の能力を有する次のような人を求める。</p> <p>(1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人</p> <p>(2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人</p> <p>(3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人</p> <p>(4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人</p> <p>(5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人</p>

学部等名 建築学専攻
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)
(概要) (1)計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有する人材の育成 (2)建築界における諸問題を捉え、解決に導くための論理的思考能力や実践的技術センスを有する人材の育成 (3)建築分野のみならず、建築分野以外の領域にまたがる課題に対しても対応できる資質を有する人材の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2)工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3)課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-aec-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほか、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL(課題解決型学習)科目を設置 (3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ(特別実習)を実施 (4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) ディプロマ・ポリシーを目標に希望や夢を持って、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を進めるよう、専攻科では、高専本科卒業レベル相当の能力を有する次のような人を求める。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/history-organization>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					7人
創造工学科	—	20人	19人	3人	3人	人	45人
一般教育科	—	7人	8人	3人	4人	人	22人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		29人					29人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&limit=30&affiliationId=6696000000					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
学期ごとに授業改善アンケートを実施し、授業に関する意見・要望を学生から集め、教員の教育改善に努めている。また、研修会・講演会、公開授業を実施することで、教員の教育に関する資質と能力の向上を図っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
機械工学科	人	人	%	人	1人	%	人	人
電気工学科	人	人	%	人	3人	%	人	人
電子情報工学科	人	人	%	人	1人	%	人	人
物質工学科	人	人	%	人	4人	%	人	人
建築学科	人	人	%	人	人	%	人	人
創造工学科	200人	209人	104.5%	1,000人	1,036人	103.6%	若干名	11人
生産情報システム工学専攻	12人	17人	141.6%	24人	37人	154.1%	人	人
応用物質工学専攻	4人	3人	75%	8人	11人	137.5%	人	人
建築学専攻	4人	7人	175%	8人	14人	175%	人	人
合計	220人	236人	107.2%	1,040人	1,107人	106.4%	若干名	11人
(備考) 機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、物質工学科、建築学科については、平成28年度から募集停止している。学科としては設置しておらず、休学や留年が生じた5年次学生のみ在籍している状況である。なお、在籍している学生については、創造工学科の各コースの授業を履修して、単位の読み替えを行う。 創造工学科については、2020年度が完成年度となる。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
機械工学科	49人 (100%)	8人 (16.3%)	40人 (81.6%)	1人 (2.1%)
電気工学科	34人 (100%)	9人 (26.5%)	24人 (70.6%)	1人 (2.9%)
電子情報工学科	45人 (100%)	14人 (31.1%)	31人 (68.9%)	人 (%)
物質工学科	29人 (100%)	7人 (24.1%)	21人 (72.4%)	1人 (3.5%)
建築学科	42人 (100%)	11人 (26.2%)	30人 (71.4%)	1人 (2.4%)
創造工学科	0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
生産情報システム工学専攻	15人 (100%)	8人 (53.3%)	7人 (46.7%)	0人 (%)
応用物質工学専攻	6人 (100%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)	0人 (%)
建築学専攻	9人 (100%)	4人 (44.4%)	5人 (55.6%)	0人 (%)
合計	229人 (100%)	66人 (28.8%)	159人 (69.4%)	4人 (1.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 有明高専専攻科、熊本大学、豊橋技術科学大学、九州大学大学院、旭化成(株)、出光興産(株)、九州電力(株)、三井化学(株)、パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)				
(備考) 創造工学科は完成年度を迎えていないので、卒業生はいない。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
年末頃から、各教科担当教員が Web 上にてシラバスに掲載する事項 (到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合) を記入する。全科目入力完了後に内容確認を行い、新年度開始と同時に Web 上で公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスにて公表している授業内容・方法（講義の内容や課題の有無等）及び評価割合（試験や発表、ポートフォリオ等）に基づき、厳格かつ適正に学習成果を評価し、単位授与を行っている。</p> <p>また、本科の卒業については、全課程の修了（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上、計 167 単位以上の単位修得）を要件としており、専攻科の修了の要件は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習・教育到達目標を全て達成していること ・専攻科の必修科目を全て修得していること ・専攻科の必修科目と選択科目を併せて 62 単位以上を修得していること ・原則として研究成果を学外に発表すること 				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	機械工学科	167 単位		
	電気工学科	167 単位		
	電子情報工学科	167 単位		
	物質工学科	167 単位		
	建築学科	167 単位		
	創造工学科	167 単位		
	生産情報システム工学専攻	62 単位		
	応用物質工学専攻	62 単位		
	建築学専攻	62 単位		
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/educational-info>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	創造工学科	234,600 円	84,600 円	78,550 円～ 135,150 円	その他内訳 ・日本スポーツ振興センター負担金：1,550 円 ・学生会入会金：2,000 円 ・教科書代：約 30,000 円 ・教材費等：約 45,000 円～90,000 円 ・寄宿料：8,400 円～9,600 円 (寮生のみ) ・寮生会費：2,000 円 (寮生のみ)
	生産情報システム工学専攻				30,000 円～ 41,600 円
	応用物質工学専攻				

建築学専攻		・寮生会費：2,000 円 (寮生のみ)
-------	--	-------------------------

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>「グローバルに活躍できる技術者」の育成を実現するため、国際交流室を中心に海外インターンシップや学生交流などの海外派遣の情報を学生たちに提供、支援することで学生たちのグローバル意識向上や積極性を培っている。</p> <p>また、海外の大学などからアカデミックインターンシップや学生交流による学生たちを受け入れ、学生のグローバルエンジニアへの意識向上に努めている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生サポートセンターとして、キャリア支援室を設置し、各種進路セミナーや進路適正テストなどの進路支援活動を企画、実施することで、低学年のうちから職業観の高揚を図り、学生のキャリア育成を支援している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生サポートセンターとして、学生相談室を設置し、学生からの悩みや心配事などの相談に応じながら、自己の確立、社会性の育成を目標とし多彩な催しを織り込んだ活動を行っている。併せて、月に数回、学校医やカウンセラーに来校いただき、健康相談やカウンセリングを行っている。</p> <p>また、いじめ防止にかかる基本方針を掲げ、いじめの防止、早期発見、適切な措置に努めている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/educational-info

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。